

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
		○		

事務事業No 611 事業名 中学校改築事業

分野別目標	5	子どもが輝き、文化が薫る教育のまち
政策	1	学校教育の充実
施策	3	小・中学校教育の充実
取組	4	豊かな教育を支える環境整備

事業種別	継続	主な事務事業	○
事業期間	H21 ~		
事業実施の根拠法令			
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	教育施設課	坂口 和夫 (435-1136)	
関連課			

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		教育費	
	項		中学校費	
	目		中) 施設整備費	
	大事業		中学校施設整備事業	
事項		中学校改築事業 (補助・単独)		

「3つのキーワード」との関連性

いのちを守る	人と文化を育てる	ふるさと力を高める	該当せず
			○

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的 (「誰・何」をどういう状態にする) ための事業か)	事業内容				
	各中学校の施設をより安全かつ快適なものにする。	各中学校施設整備工事及び施工予定工事の実施設計業務委託等。				
実施内容		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		受変電設備設置工事の実施 (貴志中) 耐力度調査 (東和中) 校舎改築工事の実施 (西和中)	受変電設備設置工事の実施 (西脇中) 校舎改築設計業務 (東和中) 太陽光発電設備設置工事 (有功中) 地デジ対応工事 (16校)	受変電設備設置工事の実施 (紀伊中、河西中) 屋内運動場改築工事 (東和中) 部室改築工事 (西和中学校)	屋内運動場改築工事 (東和中) 公共下水切替工事 (明和中) 漏水修繕及び受水槽設置工事 (有功中) 受変電設備設置工事の実施 (河北中、紀之川中、加太中、東中、高積中)	校舎増床工事 (貴志中) 公共下水切替工事 (西浜中、河西中)

2 事業コスト

	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算
事業費	504,904	424,374	157,904	113,589	150,084	53,992	571,377	632,818	76,186	
伸び率 (%)	-	-	-68.7%		-5.0%		280.7%		-86.7%	
人件費	常勤職員	51,871		26,379		26,642		43,823		
	非常勤職員	1,623				0		251		
	小計	53,494		26,379		26,642		44,074		
国庫支出金	21,800	80,722	31,853	26,197	22,994	18,082	91,302	160,026	7,726	
県支出金									0	
市債	16,300	247,760	40,400	30,600	90,200	27,200	365,600	312,600	25,700	
その他				25,664		1,117			0	
一般財源 (税等)	466,804	95,892	85,651	31,128	36,890	7,593	114,475	160,192	42,760	
所要人数	常勤職員	6.77		3.49		3.53		5.91		
	非常勤職員	0.81		0		0		0.05		
主な予算内訳	工事請負費 76,110									

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況				平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	年度目標値	実績値	年度別達成度	全体目標達成度					
契約件数 (委託)	年度目標値	1	1	0	0	0			
	実績値	1	1	0	0	0			
	年度別達成度	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%				
契約件数 (工事)	年度目標値	2	7	4	8	3			
	実績値	2	7	4	8				
	年度別達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%				
完了件数 (委託)	年度目標値	1	1	0	0				
	実績値	1	1	0	0				
	年度別達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%				
完了件数 (工事)	年度目標値	2	7	4	8				
	実績値	2	7	3	8				
	年度別達成度	100.0%	100.0%	75.0%	100.0%				

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性(担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	各学校施設の状況及び国の補助対象事業メニューの採択状況等をみながら、設備の耐震化や施設の老朽化に伴う改築等を行うため、現状維持で事業を進める。 成果指標については、各年度予定工事をどれくらい完了できたかに置いている。
「見直し」「改善」案 ※上記、「今後の方向性」において、「事業内容」、「コスト投入」の方向性が共に「現状維持」以外の場合は記載	